

令和4年度 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



YURIKAGO 通信

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 《6月号》

R4. 5. 25 東京ゆりかご幼稚園



森のキンラン (遠足にて)

梅雨にむけて

梅雨に入ると園庭で遊べない日も増えてきます。外遊びが多いYurikagoでは、「外遊びが出来なくて残念」と感じる子も多いかと思いますが、室内でも工夫をしながら楽しく遊べるようになることも大切です。楽しく落ち着いて遊べるよう、環境設定や活動の工夫をしております。

また、雨を好む生きものに興味を示したり、雨がもたらす“恵み”について感じたり、考えたりすることのできる時期でもあります。田畑や森の植物は勢いを得て生長し、カエル池や棚田では今年もシュレーゲルアオガエルが美声を響かせています。梅雨の過ごし方を楽しみながら、保育を充実させてまいります。体調を崩しやすい時期でもありますので、ご家庭でもお子様の体調管理をお願いいたします。

小学校との連携

幼稚園教育要領、小学校学習指導要領が改訂され、幼稚園と小学校との「円滑な接続」がこれまで以上に重要視されています。小学校ではスタートカリキュラム(※)が導入され、近隣の連携小学校においても、幼稚園を巣立った卒園生たちが大きな隔たりを感じることなく安心して過ごせるよう、様々な工夫がなされています。机の配置や椅子の向きを園と同じようにしたり、折り紙や読み聞かせのコーナーを設置して子ども達の気持ちをほぐしたりする活動を行っているケースも見られます。また、本園がこれまで取り組んできたESDやSDGsの活動についても、小学校における中心的な課題として設定されるようになりました。

このように、幼稚園での子どもの育ちを小学校でもスムーズに繋げていくことができるよう、園児・児童の交流、教職員同士の研修など、様々な面で連携を深めていく必要があると考えています。

※スタートカリキュラム・・・小学校へ入学した子どもが、幼稚園などの遊びや生活を通した学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくためのカリキュラム。

2ヶ月を経て・・・

年少さんは幼稚園に慣れ、GW明けの「幼稚園よりお家がいい」という退行現象も経て生活面も徐々に安定し、遊びも広がりを見せています。これまで頑張ってきた反動が見られたり、自我が出せるようになることで友達とのぶつかり合いも増えますが、こうして友達や集団を少しずつ意識しながら人間関係を深め、社会性を育てていきます。この2ヶ月間の日々の経験が自信となって、今後の幼稚園生活を充実させていく大きな礎になります。これまでのお子様の成長を認め、讃え、また励ましていただきますようお願いいたします。



モルモットのショコラ ⇒ 折り紙で作ったよ！



調理室見学



豆苗の観察



運動遊び



父の日制作



チャレンジ！



種蒔き(ラディッシュ)

年中さんは広いクラスでお友達も増え、制服登園となるなど、年少の頃とは異なる生活環境が「お兄さん、お姉さんになった！」という自信や自覚を促してくれます。触れなかった虫に触れるようになったり、登れなかったアスレチックや櫓に登れるようになったりと、「できること」が格段に増える年中さんにとって、1学期後半は遊びや諸活動に大きく挑戦していく大切な時期です。時には失敗や挫折を繰り返す場面もありますが、挑戦する姿勢を認め、見守っていただきますようお願いいたします。



朝顔の種を蒔きました…大切に育てます。新野先生と、おくら、かぶ、大根の種も蒔きました。



すごい！



運動遊び～アプレハルン～



トンボ！



Yurikago Style！

年長さんはこれまで積み上げてきた経験をもとに、新たな課題に取り組もうとする意欲が大きな成長を促します。この意欲を維持し、高め、成長につなげていくためには、何よりも日々の安定した生活習慣が大切です。ご家庭におかれましても、十分な睡眠、早寝早起き朝ご飯、挨拶、整理整頓、ハンカチ・ティッシュなど、年少さんから続けている基本的な生活習慣を崩さずに、就学前の最後の1年を過ごしていただきますようご協力をお願いいたします。



築山のダム遊び…さすが年長！



じゃがいも畑の草取り



丸太～アトリエ～



チャレンジ



「子どもの森作りプロジェクト」東北のこども園に、園で育てたどんぐり苗を送りました。森再生を願って！



トマトの苗の植え付け、上手！



“おカイコさん”を育てます！！

本年もカイコを育てます。横浜のシルク博物館から頂いた500粒の卵が孵化し、小さなカイコの赤ちゃんが誕生しています。園庭の桑の葉を与えてお世話をし、最終的には糸をとり、遊びや生活に活かせる物を作ります！



春の遠足

学年ごとの春の遠足。春の自然を見つけながら野山を歩きました。年少さんも頑張って歩きました！これからも野山の散策を行っていきます。



年少（七国の森）



年中（つどいの森公園）



年長（長池公園）

ムササビの子どもの名前、決定！

幼稚園の「森の広場」に棲むムササビ。母親の“スースー”が2匹の子どもを一生懸命育てています。巣立ちの時を迎え、巣箱から頻繁に顔を出すようになったため、園児も直接観察が出来るようになりました。夜には木登りの練習をしているようです！

ムササビ博士の岡崎先生によると、約1年間は今の巣箱を親子で利用するとのことですので、今年度はじっくりとムササビの生活を観察することが出来そうです。

年長は、徐々にムササビに興味を持つようになり、23日には、隣接の森の中に昨年が設置した3箇所の巣箱を観察したり、ムササビが棲んでいそうな樹洞を観察しました。また、「2匹の子どもの名前を決めよう！」ということになり、年長さんでいくつかの名前を考え、発表し合い、最後はドングリを使って投票がおこなわれ「ぐりとぐら」に決まりました。早速、巣箱の前で名前を呼んでいます！ 昨年の11月に放送された、NHKの「ダーウィンが来た」の続編も、もうじき放送されることですので、日程が決まりましたらお知らせします。



巣箱から顔を出した！ 巣箱内の様子(母子計3匹)



ドングリを投票箱に入れ・・・



早速決まった名前を呼んでみた！



投票に使ったドングリは餌台に！

年長 佐々木隊長と森散策



森の中の様々な生き物を発見！ フロナチュラリストの佐々木隊長にたくさんのことを教えていただきました！

入水式～代かき

棚田に、地下120mからの井戸水を入れ、土を砕いてなめらかにする「代かき（しろかき）」、土を畦に塗り水が漏れないようにする「畦塗り（あぜぬり）」を行いました。泥遊びも楽しみながら（これがメインかな！）美しい棚田が蘇りました。種籾から育てた育苗箱の苗も元気に育ち、棚田へ移動。いよいよ田植えです！



入水式「冷たい！」 足で土を砕き（代かき） 畦に泥団子を投げつけ、手でならし（畦ぬり）



**最後は泥遊び！ 力を合わせ、美しい田んぼが完成！ 苗は棚田へお引っ越し。
シュレーゲルアオガエルもこんにちは！**

満3歳児クラス「うさぎ組」がスタート！

今年度の5月より、満3歳児クラス「うさぎ組」がスタートしました。3歳の誕生日を迎えた翌月から正式に幼稚園児として入園が可能になります。5月は2名。アットホームな雰囲気楽しく過ごしています！ 毎月、少しずつお友達が増えていく予定です！！

